

第2学年2組 総合的な学習の時間学習指導案
単元名：～社会を知ろう～働くことの意味や働く人の夢や願い

日 時 令和4年9月27日（火） 第5校時
場 所 呉市立和庄中学校 第2学年2組教室
学 年 第2学年2組（男子15名 女子18名 計33名）

単元について

【単元観】

本単元は、全体計画に定めた探究課題「働くことの意味や働く人の夢や願い」を踏まえて構想した単元である。本質的な問いを「働く意義とは何か」と設定し、自らの適性を理解し、主体的に自分の将来について考え、必要な知識や情報を収集し、他者との関わりの中で、自分の役割を果たすと共に、自己の生き方について考えることを通して、本中学校区で設定した資質・能力を育成することをねらいとしている。

総合的な学習の時間に行われる職場体験活動は、生徒が社会と関わり、自己の生き方を具体的、現実的なものとして考える探究的な学習として行われる。職場体験活動を通して自分自身の特徴を内省的に捉えたり、周囲との関係で理解したりして、学ぶ意味や自己の将来について考えることが期待できる。

【生徒観】

本学級の生徒は、進路について関心はあるものの、明確になっていない、具体的に想像できない生徒が多い。自分の長所や短所を整理する際、「自分に足りないものが何か」が浮かばない生徒が多いため、今回の職場体験活動を通して、社会で働く上で何が必要なのかを理解することができることを考える。また、「自分の良さはまわりの人が認めてくれていると思うか」というアンケートに「よくあてはまる」と答えた生徒は41.9%であった。このことから自分の良さや周りの人のためになる長所とはどんなところなのかをこの単元を通して考えさせる。

本校の第2学年においては、タブレットを使って情報を整理したり、わかりやすくまとめることはできるが、重要なキーワードを選択したり、そのキーワードで簡潔に説明したりすることが難しいと感じる生徒が多い。またワークシートをまとめることに長けている生徒は多いが、発表時に原稿を読み上げるだけの生徒が見られ、相手に伝えるスキルに課題がある。また、友だちの発表に対して疑問を投げかけることが難しい生徒が多い。

【指導観】

指導に当たっては、「働く人々の工夫とは何か」をテーマとし、その工夫が仕事の効率化やよりよい顧客対応、新しい商品開発、企業の発展につながっている等を踏まえ、働くことが社会の発展につながっていることに気付かせる。また、その中で自分について見つめ直すことができるよう指導を行う。

具体的には、働く現場を体験して何を学びたいか職場体験前に考えさせる。その後、実際に仕事を体験して、事前にもっていた仕事のイメージや仕事に対する考えが変わったことや、新たに学んだことを事後学習で整理させる。その際、自分ができたことは何かを整理させることで社会において通用する態度や礼儀を知り、自己肯定感を高め、将来の進路選択へとつなげていくことができる。また、今の自分に足りていないスキルを知ることによって日々の学校生活での礼儀や挨拶、態度を振り返らせることができる。

学んだことを発表する場面では、自分たちの伝えたいことを明確にわかりやすく伝えるために、他のグループの事業所の発表を参考にさせ、良い点や改善点を検討しながらポスターや発表の仕方を工夫させる。

最後に、振り返りを行い、自分の将来について考えさせる。他の職業について知ったことや自分が体験したことから、何が自分にできるのか、何が社会に貢献するということなのかを文章でまとめさせ、3学期の自己表現の学習に繋げる。

単元の目標

○地域の仕事や、その仕事に従事する人々に関する探究的な学習を通して、働くことの意味と自分自身の生き方との関わりに気づき、働くことの意味を自分との関わりで考えるとともに、今後の学習や生活の在り方に積極的に活かすことができる。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①働くことの意味を考える学習が将来の職業選択のみならず、今後の自分自身の生き方に、深く関わっていることを理解している。</p> <p>②調査活動を目的や対象に応じた適切さで実施している。</p> <p>③働くことの意味について収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていること、それらは自己の成長とともに見出すことができることに気付いている。</p>	<p>①働くことの意味について、自分たちの考えと実際に働いている人々との考えの隔たりから、自分自身で課題を設定し、見直しをもっている。</p> <p>②他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を整理したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。</p> <p>③相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現している。</p>	<p>①課題解決に向けて、見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。</p> <p>②仕事と自分との関わりに関心をもち、今後の活動や生活の在り方を積極的に考えようとしている。</p>

指導計画（全40時間）

第1次	社会に出て働くとはどういうことか。（事前学習）	10時間
第2次	職場体験活動をする。	15時間
第3次	働く人々の工夫を知ろう。（事後学習）	12時間（本時）
第4次	ポスターセッションをして、他の事業所の工夫や仕事を知ろう。	2時間
第5次	単元を通して学んだことを振り返ろう。	1時間

時	ねらい・学習活動	評価の観点(評価方法)		
		知・技	思・判・表	主体
1	働く上で、収入を得るだけでなく、仕事のやりがいや社会への貢献といった側面があることを理解する。	○（ワークシート）①	・（発言・行動観察）①	
2	働く上で、人々はどのような工夫をしているのか、なぜそのような工夫が生まれたのかを学ぶ。	○（ワークシート）②		・（発言・行動観察）②
3	働く人々の工夫を多くの人にわかりやすく伝えることで、自分が学んだことを整理し、自分や仲間の進路選択へつなげる。	○（ポスター）③	・（発言・行動観察）②	・（発言・行動観察）②
4	ポスターセッションをし、様々な職場での仕事内容や工夫を知り、進路選択へつなげる。また、代表者の発表から相手に伝わる発表とはどのような工夫がなされているか学ぶ。	○（ワークシート）②	・（発言・行動観察）③	・（発言・行動観察）①
5	職場体験で学んだこと、他の事業所の発表から学んだことから、自らの生活態度や進路に今後どのようにつなげていきたいか考える。			・（発言・行動観察）②

小中一貫教育の視点に関わって

研究主題である「主体的に学び、思考を働かせ表現する児童生徒の育成」に関わって、「思考を働かせる場」の工夫として、本時は、前時に中間報告として他グループの発表の工夫などを確認しているため、自分たちのグループの発表で良い点や改善点をまとめさせる。最初からグループで話し合うのではなく、個人が気付いた点をまとめてからグループでの協議に移る。一人一人が良い点や改善点といった考えをもって協議することで、グループ内でより良い発表につなげることができる。また、他グループの良い点を参考にし、発表を工夫させる。ポスターの作成では、一番伝えたいことは何かという視点からレイアウトや文章を考えさせる。発表の仕方では、話し方や話す順番を工夫したり、話す内容を精査したりして聞き手に伝わる発表を目指す。

本時

(1) 本時の目標

他のグループの発表を参考にして、ポスターと発表の仕方を「相手にわかりやすく伝わる」よう改善することができる。

(2) 本時の展開

学 習 活 動	主な発問 (◎) と発問 (○) 予想される生徒の発言 (・)	●評価規準【観点】 ☆指導上の留意点
<p>1. 中間報告での反省をする。 (個人思考)</p> <p>2. 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○前の時間に行った中間報告を振り返って、自分のグループの発表は、相手に伝わりやすいものだったかを考えよう。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">思考を働かせる場の工夫</p> <p>☆「働く上で人々が行っている工夫」というテーマに関連して、生徒たちも発表をする上でどのような工夫ができるかを考えさせる。</p>
<p>【めあて】 中間報告から改善点を見つけて、ポスターと発表の仕方を「相手にわかりやすく伝わるよう改善しよう。</p>		
<p>3. 事業所グループごとに各個人が考えた改善点などをタブレットで共有し、中間報告の個人の反省と、中間報告の様子や他グループからのアドバイスや意見を基に改善点を見つける。</p> <p>4. ポスターを修正し、よりよい発表の仕方を考える。</p> <p>5. 本時を振り返る。</p>	<p>◎相手に自分の意図を伝えるために何が必要かを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトを変更する ・発表の順番を工夫する ・一番伝えたいことを強調する <p>○相手に伝わる発表のために、改善できたことは何か。</p>	<p>☆すぐに書き始めるのではなく、グループ内で改善点を整理した上で、ポスターの修正を始めさせる。 ☆発表の仕方は適切かグループ内で確認し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">思考を表現する場の工夫</p> <p>☆他のグループの良かった所や参考にすべき点を自分たちのグループにも反映させる。</p> <p>●相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現している。 【思考・判断・表現③】 (発言・行動観察)</p>
<p>【期待される振り返り例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードを強調し、伝えたいことが何かすぐにわかるようにすること。 ・聞き手の興味を引きつけるために、発表する順番を変えること。 		

